

消防団 ネットin川口

平成 29 年 12 月 31 日

第 53 号

KAWAGUCHI SHOUBOUDAN NEWS

発行者 川口市消防団活性化対策推進本部

消防団長 金子 利夫

発行所 川口市消防局消防総務課消防団事務局

電話 048-261-8102

川口市消防団特別点検

去る、11月26日に川口市消防団特別点検が開催されました。晴天に恵まれ例年より暖かく汗ばむような気候でした。



各支団のポンプ操作隊員



1 支団



2 支団



3 支団



4 支団



5 支団



6 支団



7 支団



8 支団



9 支団



10 支団



11 支団

支団紹介

10 支団の紹介です

第 10 支団第 3 分団 団員 肥留間 広幸

鳩ヶ谷地区の 2 つの支団のうち、桜町、鳩ヶ谷本町、里、辻、南鳩ヶ谷 7 丁目をエリアとしているのが 10 支団です。現在 40 名の消防団員が在籍し 3 つの分団にわかれ活動しています。

第 1 分団

第 10 支団第 1 分団 分団長 亀岡 良次

第 1 分団は現在 11 名で諸活動を行っております。受け持ち地域はポンプ車車庫のある桜町を中心に隣接する鳩ヶ谷本町地区、S R 鳩ヶ谷駅のある里地区、辻地区を担当しています。勤続 30 年以上の方が 2 名、20 年以上の方が 3 名、10 年前後の方が 4 名となんとバランスの良い構成、そして新入団員も 2 名迎えることができました。

合併当初は何かと不安だらけでしたが、現在は「川口市消防団」に変換完了です。

最後になりますが、県大会に選抜された団員の皆様、担当支団の皆様、練習練習で大変だと思いますが頑張ってくださいと思います。



第 2 分団

第 10 支団第 2 分団 団員 小谷 圭三



我々第 2 分団は、かつて日光御成道の宿場町として栄えた、鳩ヶ谷本町を中心に活動しており、団員の殆どは鳩ヶ谷本町商店街の人間であり、江戸時代に町人自身で組織した店火消（たなびけし）的な雰囲気漂う、団員は子供の頃より見知った近所の店のお兄さんやおじさんが多い、故に上下関係はあまり厳しくありません。

親睦事業を頻繁に行い、ただでさえ強い結束力をより強めている我々は、自分達の町を自分達で守る気概を持っております。

近年、大型マンションが増え、人口が増加している故郷鳩ヶ谷本町、我が町川口市の安全を守るため、今後も村山分団長の下一致団結してまいります。

第3分団

第10支団第3分団 分団長 高野 浩一

第3分団は鳩ヶ谷地区国道122号の北西部、里、辻、桜町、南鳩ヶ谷7丁目を担当地区として活動しています。

現在の在籍団員は16名で活動しています。

毎月1回班長部長中心に車両器具点検を兼ねて担当地区を巡回しています。

年に1度(4月頃)鳩ヶ谷分署にて隣接する分団と放水訓練、中継放水訓練を実施しています。

団本部吉田副団長の出身分団でもあり副団長の消防精神を今なお引き継いで活動し、地域の安心安全のため努力しています。



支団車庫紹介 どんな設備や装備があるのかな？

第3支団第1分団 団員 近藤 隆生

まずは私の所属する第1分団から紹介します。

第1分団は消防団の中では珍しく自分たちの車庫を持っていません。ポンプ車は川口オートレース場近くの川口市消防局青木分署内に配置されています。自前の車庫や設備等がないのは寂しいですが、分署内にあるという利点を活かし日頃から署員の方々とコミュニケーションを取り合同訓練等を実施して、いざという時連携して災害にあたれるように備えています。また、定例の会議などは町会会館等の施設をお借りして行っています。



次に第2分団の車庫紹介を加藤班長にお願いします

第2分団は前川地区を中心に、隣接する上青木、芝地区を担当地区として活動しています。

第2分団車庫は、前川地区の象徴の1つでもある前川観音近くにあります。

ALC造りの2階建ての建物です。

1階にポンプ車の車庫と、和室約18畳の詰所があり、トイレ、キッチンがあります。

外部には乗用車2台停められる駐車スペースとホース干場、洗い場が設置されています。

又、車庫の隅に昭和4年に造られた半鐘があります。

消防50周年記念の記念品として、

平成10年4月に寄贈されました。

半鐘の脇に銃弾の痕跡ではなかろうかと思われる跡が残っていて歴史を感じさせられます。



続きまして第3分団の車庫紹介を増田分団長からお願いします



第3分団の車庫は川口市消防団がまだ9分団制の当時長い間、北消防署上青木分署内にありました。

その後自前の車庫建設を目指して当時の団役員が多方面に呼びかけ、結果、山野和宏団員のお父様の山野利七様の御協力で用地提供をいただき、現在の車庫が平成3年3月に落成され、あれから26年が経ちました。

我が車庫はスキップシティの東側に位置し、地域の特徴として平成30年4月開校の川口市立高等学校をはじめ4つの小・中・高校が林立しており、まさに教育と行政とメディアが混在する重要な地域であります。

私たち団員は地域住民の安全・安心を司る大切な任務と認識し日頃から訓練に励んでおります。またユニークな団員が多く、車庫での会議では笑顔が絶えないコミュニケーションが常にあり、最高のメンバーと自負しております。以上第3支団の車庫紹介でした。



わたし 消防団員よ♡ 第3支団第1分団 団員 中村 身智世（なかむら みちよ）

応急手当指導員を目指したのが、入団のきっかけです。ですが、もちろん火災現場へもちゃんと行っています！

私の育った地域には火の見やぐらがあり、親戚に消防団員が居るのが当たり前でした。小さな頃から親戚のおじさんが消防団員の法被を着て様々な場面で活躍する姿を見て来て、消防団員＝男性というイメージでしたので、自分に何が出来たのか？という不安がありました。

しかし、入団をして初めての火災現場へ向かう途中、年配の女性が「がんばってね！」と声を掛けて下さいました。その言葉で、入団した以上やらなきゃ！と不安がやる気になりました。

今日まで、職員の方々、団長、副団長、支団長をはじめ支団分団の垣根をこえ、先輩団員の方々からのご指導と支えがあり、活動させて頂ける事に感謝しています。

私事ですが、「消防団活動をしているママが好き」と云ってくれた娘の言葉も励みです。

様々な状況に対応出来る柔軟性のある団員になれるよう、経験を積んで行きたいと考えています。これからもご指導を、よろしくお願いします。



現場活動における消防団員の安全管理と活動要領

第8支団第2分団 団員 中田 淳夫

平成29年7月23日(日)、川口市消防団第8支団を対象に、安行分署署長さん、署員さんのご指導の下、現場活動における消防団員の安全管理と活動要領と題して訓練が行われました。

安全管理の座学では、消防団員は、安全管理に裏付けられてはじめて、災害活動を行うことが出来るという基本を頭に入れ、車庫からの出場から始まり、水利部署やホース延長から残火処理・引き上げに到るまでの各場面を具体的にあげながら注意点を学びました。

屋外では、ポンプ車の構造や、給水方法の説明を受け、実際に水を出し、水圧や絞り方による、飛距離や流量、反動の変化を学びました。

また、火災現場での基本活動として安行分署駐車場に設置した特設のコースにて、特に安全管理を意識して大きく声を掛け合いながら、ホースカーを用いたホース延長の訓練を行いました。

全体をとおして、安全確認なくして消防活動はあり得ないという基本理念を改めて考え直す良い機会となりました。



平成 29 年度安行地区防災訓練

第 8 支団第 2 分団 団員 中田 淳夫

平成 29 年 9 月 10 日(日)に、安行地区防災訓練が安行スポーツセンターグラウンドで開催され、第 8 支団は各訓練の安全管理とポンプ車操法訓練と一斉放水を行いました。

安行地区連合町会を中心に約 700 名が参加のもと、東京湾北部を震源とする震度 6 弱の地震に見舞われたと想定した訓練でした。震災対応として会場への集団避難、応急手当訓練、炊き出し訓練などが行われ、火災対応として煙中避難訓練、水消火器訓練、水バケツ消化訓練、水害対応として積み土嚢訓練が行われました。

訓練は、各町会の防災リーダーと自主防災組織による住民が主導する形で実施されたことにより、より実践的な訓練であったかと思います。

また、AED の操作や、軽可搬ポンプの取扱いなども住民同士で説明し体験したことにより、より深く理解が得られたのではないのでしょうか。

操法隊員たちも訓練の成果を十分に発揮して、ポンプ車操法を地元に皆様に披露することができました。 事故等も無くたいへん有意義な訓練になったかと思います。



特別点検は、消防団員としての服装規律や姿勢、車両等の機械維持管理、礼式や操法等の総合的な点検を行い、我々消防団員にとって日頃の訓練成果を披露する大切な日です。

第二支団は全体訓練として計8回。今回の操法は5名のうち2名が新人団員です。その為、動きや流れを何度も繰り返し学び、先輩団員と共に切磋琢磨しています。

職員の方々の指導はもちろん、他の団員も一丸となって、迅速且つ的確な行動が出来るようサポートし、訓練に励んでいます。休憩時間も身体に覚えさせる為に各々が自主練習をされていて、結果、目に見えて形になっています。

操法のみならず礼式を含め、特別点検を終えた時には自信に繋がり、今後の消防活動の糧になることと思います。



新入団員紹介

新入団員の皆様を順次紹介しています

第2支団第1分団 団員 若松 弘樹（わかまつ ひろき）

私が消防団に入団しようと思ったのは、大学の友達が東京のポンプ操法に出ているのを見たのがきっかけです。元々消防団には2年前ごろから入団しようと思っていたのですが、大学の忙しさからなかなか入団できず。今年の6月ごろに友達のポンプ操法を見て、大学在中には経験したいと思い、入団を決意しました。

第2支団では最年少ではありますが、やる気と元気と若さだけは支団の誰よりも優っていると自画自賛していますので、先輩方を置き去りにするぐらいの気持ちで頑張りたいです。



第2支団第1分団 団員 梶田 浩一（かじた こういち）



私の職場には2名、消防団に属している先輩がいます。そのうちの1名は、私の年齢のよりも長く消防団活動をしている大先輩です。その大先輩の話を聞いていると「仕事しながらで大変そうだな…」というイメージでした。

同じ時期に私と一緒に入団した仕事仲間もいるので、私の職場には計4名、仕事仲間であり、消防団仲間でもあるという環境が出来ました。実際に地域の防災訓練に参加した時、年配者には感謝され、子ども達にはハイタッチをされるなど、大変さの中にも大きな得る物があるんだと感じました。

私は身体を動かす事が好きなので、これからの活動で色々とチャレンジしていきたいと思います。

第2支団第1分団 団員 梶田 祥平（かじた しょうへい）

この度、第二支団に入団させていただきました梶田です。
仕事を機に川口市に引っ越してきました。会社では先輩方が消防団員だったこともあり、地域の役に立ちたいと思い、入団を志願しました。川口に住み始めて日も浅く、土地勘がない為、まだ右も左も分かりませんが、日々の訓練に積極的に参加し、一日も早く地域の役に立てるように頑張ります。
ご指導の程、よろしくお願いします。



.....

【編集後記】

第7支団第2分団 団員 田口 明文

今回も53号の発刊に際し、取材にご協力頂きました皆様、また記事を投稿頂いた皆様、ご協力誠に有難う御座いました。

皆様にご協力頂きました原稿は思った通りに記載されていますでしょうか？

何か問題が有りましたら、お近くの広報委員まで何なりと申し付け下さい。

誠意を持って対応させて頂きたいと存じます。

これからも、川口市消防団の活性化並びに団員の意気高揚に繋がる様な紙面作りに精進していきたいと存じます。

次号は2月上旬 発行予定です

